



# 1. PCB廃棄物処理基本計画等の変更について

PCB廃棄物処理の完遂に向けては、環境省に設置された「PCB廃棄物適性処理推進に関する検討委員会」において、JESCOの処理体制の見直しを含めた検討が重ねられ、各事業所が立地する自治体のご理解を得た上で、平成26年6月に「PCB廃棄物処理基本計画」が変更され、これを受けてJESCOの「PCB廃棄物処理事業基本計画」を変更し、国の認可を受けたところです。

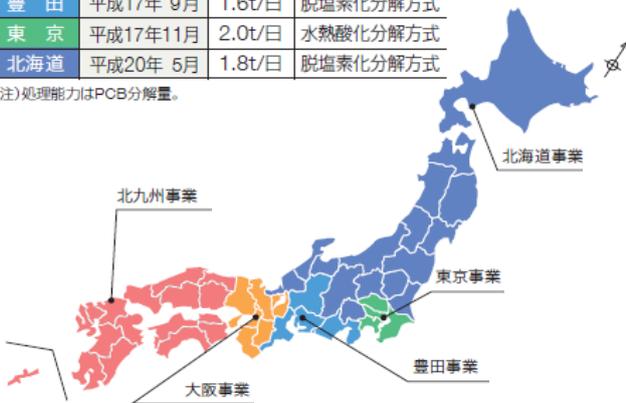
新たな処理体制では、高圧トランス・コンデンサ等の一部は、従来の処理対象区域を越えて各事業所の処理能力を相互に活用し処理を行うこと、安定器等・汚染物は、北九州事業所及び北海道事業所の2か所の施設を活用し全国の処理を行うこととされ、これらも踏まえて保管されている方々がJESCOに処理委託を行う新たな期限などについても定められました。

この新たな事業基本計画に基づき、安全で確実な処理の確保を前提に高濃度PCB廃棄物の処理をできるだけ早期に終了できるよう、今後も全力で取り組んでまいります。

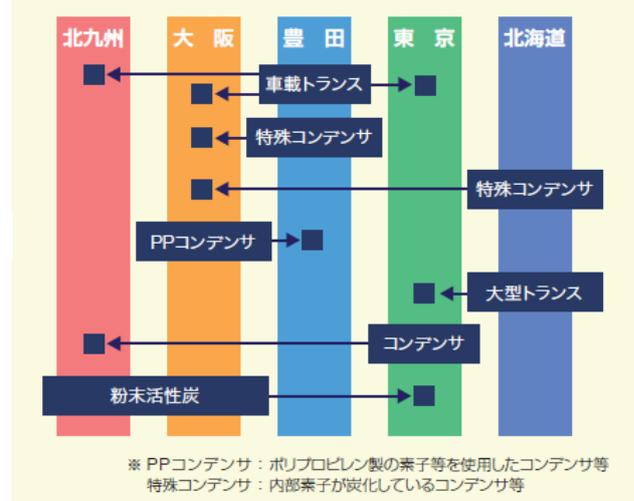
## 高圧トランス・コンデンサ等の処理

処理対象区域	操業開始	処理能力 (t/日) (注)	PCB分解処理方式
北九州	平成16年12月	1.5t/日	脱塩素化分解方式
大阪	平成18年10月	2.0t/日	脱塩素化分解方式
豊田	平成17年 9月	1.6t/日	脱塩素化分解方式
東京	平成17年11月	2.0t/日	水熱酸化分解方式
北海道	平成20年 5月	1.8t/日	脱塩素化分解方式

(注)処理能力はPCB分解量。



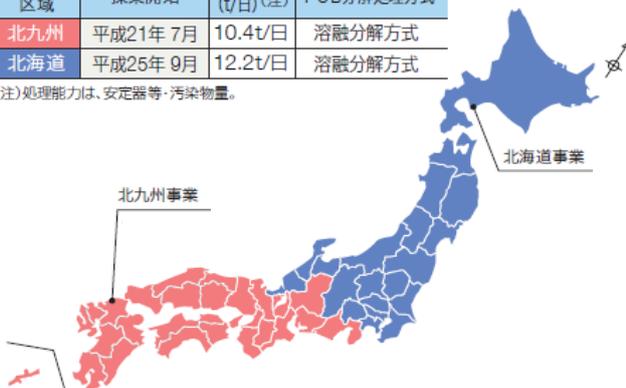
## 各事業における処理能力の相互活用



## 安定器等・汚染物の処理

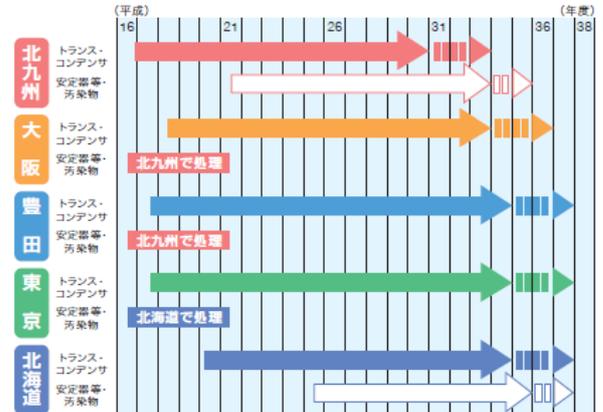
処理対象区域	操業開始	処理能力 (t/日) (注)	PCB分解処理方式
北九州	平成21年 7月	10.4t/日	熔融分解方式
北海道	平成25年 9月	12.2t/日	熔融分解方式

(注)処理能力は、安定器等・汚染物量。



※ 安定器等・汚染物：PCBを使用した低圧トランス及び低圧コンデンサのうち小型のもの、安定器その他これらと同程度の小型の電気機器が廃棄物となったもの、感圧複写紙、ウエス、汚泥等のPCB汚染物

## 処理の開始・完了予定時期



※ 計画的処理完了期限(実線)：保管事業者がJESCOに対し処理委託を行う期限  
 事業終了準備期間(点線)：今後新たに生じる廃棄物の処理や処理が容易ではない機器の存在、事業終了のための準備を行うための期間を勘案したもの

## 2. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況のご報告

平成26年4月から6月までの処理実績は右表のとおりです。  
引き続き、安全かつ確実に処理を継続してまいります。

26年4～6月の処理台数

種 別		処理台数
コンデンサ類		1,377 台
トランス類	大 型	10 台
	小 型	29 台
	車 載 型	12 台
廃PCB等		19 本
保管容器		25 個

## 3. 産業医による健康講話の実施について



豊田施設では社員の健康管理の一環として、産業医による健康講話を定期的を実施しており、本年度第1回目は6月24日に開催しました。

今回は「夏場の健康管理」をテーマに、エアコンによる夏の冷え性対策、夏風邪予防、夏に特に多い脳梗塞対策、食中毒予防といった、夏場ならではの4項目について、ご指導いただきました。

暑い夏を健康的に乗り切るための予防と対策を丁寧に説明いただきましたので、社員一同今後の健康管理に役立てたいと思います。

## 4. 施設見学について

平成26年度第1四半期の施設見学者数

	4月	5月	6月	計
団体数	7団体	2団体	5団体	14団体
見学者数	29名	27名	14名	70名

豊田市民の皆様をはじめ、保管事業者、行政の方々、また遠くは海外から視察にいらっしゃった方等、多くの方々が当施設へお越しく下さいました。施設見学を通じてPCB廃棄物の処理状況等について理解を深めていただいております。

施設見学をご希望の方は下記の【豊田事業HP】をご参照のうえ、0565-25-3110までお問い合わせください。

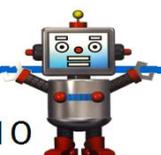


アザラシのピーちゃん

**問い合わせ先**

日本環境安全事業株式会社(JESCO) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>



デジ丸